

平成28年11月30日

各位

会社名 株式会社アスラポート・ダイニング
代表者名 代表取締役社長 中村敏夫
(コード番号 3069 JASDAQ)
問合せ先 法務総務部長 尾崎富彦
(TEL.03-6311-8892)

株式会社小僧寿しとの資本業務提携に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、株式会社小僧寿し（以下「小僧寿し」といいます。）との資本業務提携（以下「本件資本業務提携」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件資本業務提携の理由

当社及び当社グループは、焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で671店舗（平成28年9月30日現在）を展開しておりますが、平成25年度より新たに「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、外食（販売）事業から流通及び生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。そして、その目標を達成するため4つの戦略「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」を掲げ、更なる成長を目指しております。

小僧寿しは、持ち帰り寿し店「小僧寿し」及び「茶月」等のブランドを中心に、全国で327店舗（平成28年9月30日現在）を展開しております。小僧寿しは、平成28年5月度に新たな成長戦略に基づく事業運営方針を公表し、「小僧寿しグループ」が持つブランド価値の最大化を成長戦略の基軸とし、今以上に愛されるブランドへと進化するため消費者のライフスタイルとニーズに即した「新生小僧寿し」「新生茶月」のリブランド開発の推進、全国を網羅するフランチャイズ事業体制の再構築をすすめております。更に「宅配事業」の他、「高齢者・介護関連事業」への参入を通じて、国内外で有数の複合的な業態のフランチャイズ企業を目指した取り組みを進めております。

当社は現在、焼肉や居酒屋業態の他に、メキシカンファストフード「Taco Bell（タコベル）」、など幅広いブランド・業態で飲食系フランチャイズチェーンを展開しております。小僧寿しとの本件資本業務提携は、当社のブランド・ポートフォリオにない寿司業態との

提携であり、当社グループが運営する店舗と合わせると、約 1,000 店舗の規模となるため、今後相互に様々なシナジー効果を追及していくことが可能となります。具体的には小僧寿しが有する「持ち帰り（テイクアウト）や宅配（デリバリー）」の機能とノウハウを共有することにより、当社の既存ブランドの新たな事業展開が速やかに可能となると考えております。また当社のブランド開発のノウハウにより小僧寿しの経営課題である「小僧寿し」や「茶月」のリブランド・プロジェクトをサポートできると共に、当社のフランチャイジー・ネットワークを通じて当該リブランド店舗のフランチャイズ展開を支援していくことも企図しております。そして、これら施策を実行するには、中長期的な関係を緊密にすることが必要不可欠であるとの認識が両社間で生じ、資本関係を持つことが最も有効であるとの結論に達しました。

このように販売先・販売スタイルの多様化による「既存ブランドの競争力強化と成長」のみならず、新ブランドの開発による「ブランド・ポートフォリオの多様化」戦略を積極的に推し進めることが出来るものと考えられ、「食のバリューチェーンを構築する」という当社の目標の達成に寄与し、企業価値の向上に結び付くとの結論に達しましたので本件資本業務提携を決議いたしました。

2. 本件資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

当社と小僧寿しとは、本件資本業務提携において、相互の経営並びに事業の独立性及び自主性を重んじ、将来企業価値の向上のために行う財務施策、組織再編、提携その他の行為を尊重し、これに合理的な範囲で協力する意向を有している基本方針を確認した上で、以下の事項に係る業務提携を実施することに合意いたしました。

なお、その具体的な内容、条件、実施時期等の詳細については、今後、両社間で協議、決定してまいります。

① 当社グループの他業態ブランドとの協業

(寿司関連商品の PB 商品開発と共同販売等)

② 当社グループと共同して「小僧寿し」「茶月」のリブランドとフランチャイズパッケージの開発

③ 人材マネジメントの共有化

④ 共同購買によるコスト削減と付加価値創造

⑤ 共同マーケティング活動による効率化

⑥ 新規事業の共同開発業務

(2) 株式取得の内容

当社は、小僧寿しの筆頭株主である株式会社東商（旧商号 東洋商事株式会社）から

4,093,211 株（小僧寿しの発行済株式総数の 13.7%、1 株あたり取得価額 83 円（※））を取得いたします。

※平成 28 年 11 月 29 日の終値 83 円。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社小僧寿し	
(2) 所在地	東京都品川区西五反田一丁目 3 番 8 号 五反田御幸ビル 8 F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森下 將典	
(4) 事業内容	寿し、弁当の製造販売、ならびに小僧寿しのフランチャイザーとして 加盟者に対する原材料の供給と指導	
(5) 資本金	2,769 百万円	
(6) 設立年月日	昭和 47 年 2 月 18 日	
(7) 大株主及び持株比率（※）	東洋商事株式会社（現商号 株式会社東商）	13.7%
	日本証券金融株式会社	2.8%
	株式会社ラックランド	2.2%
	株式会社 SBI 証券	1.4%
	田籠 鶴己	1.0%
	井関 清	0.8%
	楽天証券株式会社	0.8%
	松井証券株式会社	0.7%
	片山 道弘	0.6%
テンプスタッフフォーラム株式会社	0.6%	
(8) 上場会社と当該会社の関係		
資 本 関 係	該当事項はございません。	
人 的 関 係	当社の代表取締役会長である檜垣周作が当該会社の取締役を、当社の取締役である森下將典が当該会社の代表取締役社長を、当社の従業員である良本宜之が当該会社の取締役をそれぞれ兼務しております。また、当社の取締役である齊藤隆光及び当社の従業員である尾崎富彦が当該会社の監査役をそれぞれ兼務しております。	
取 引 関 係	当社と当該会社とは本社事務所の賃貸借取引がございます。また、当社は当該会社に対して食材等の供給や従業員の出向を行っております。	

関連当事者への 該当事項	該当事項はございません。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態 単位：百万円			
決算期	平成 25 年 12 月期	平成 26 年 12 月期	平成 27 年 12 月期
連結純資産	1,023	970	897
連結総資産	4,238	3,740	2,480
1株当たり連結純資産(円)	57円02銭	31円18銭	30円13銭
連結売上高	15,694	12,068	6,054
連結営業利益	△610	△885	82
連結経常利益	△628	△958	44
連結当期純利益	△1,680	△1,546	△72
1株当たり連結当期純利益(円)	△108円80銭	△63円04銭	△2円45銭
1株当たり配当金(円)	-	-	-

(※) 大株主及び持株比率は平成 28 年 6 月 30 日現在の情報を記載しております。なお、筆頭株主である東洋商事株式会社は、平成 28 年 7 月 1 日付で、株式会社東商に名称変更をしております。

4. 株式取得の相手方の概要

(1) 名称	株式会社東商 (旧商号 東洋商事株式会社)
(2) 所在地	東京都品川区西五反田一丁目3番8号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 西澤淳
(4) 事業内容	資産管理業
(5) 資本金	99百万円
(6) 設立年月日	平成 21 年 12 月 18 日
(7) 総資産	3,299 百万円
(8) 純資産	1,484 百万円
(9) 大株主及び持株比率	株式会社田中文悟商店 100.00%
(10) 上場会社と当該会社の関係	
資本関係	当該会社は当社の株式を 1,169,724 株 (議決権割合：4.00%) 保有しております (※)。
人的関係	該当事項はございません。
取引関係	該当事項はございません。
関連当事者への該当事項	該当事項はございません。

(※) 平成 28 年 9 月 30 日現在の情報を記載しております。

5. 新たに取得する相手方の株式または持分の取得価額

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	4,093,211株 (議決権の数：40,932個)
(3) 取得価額	株式 339,736千円 アドバイザー費用等(概算額) 0千円 合計(概算額) 339,736千円
(4) 異動後の所有株式数	4,093,211株 (議決権の数：40,932個) (議決権所有割合：13.7%)

6. 日程

(1) 取締役会決議日	平成28年11月30日
(2) 契約締結日	平成28年11月30日
(3) 株式譲渡実行日	平成28年11月30日
(4) 業務提携開始日	平成28年12月1日

7. 今後の見通し

当期の業績に与える影響は軽微と考えられますが、中長期的に当社グループの業績向上に寄与するものと考えております。

以上